

役に立つBOOK

リーダーのための易経の読み方

竹村 亜希子著

本家の中国でも論語、荘子、老子などの中国古典を読むことがブームになっていると伝えられている。少子高齢化の進行、世界同時不況など混迷の時代にあって、原点に立ち返るといふことか。

中国古典の中でも難しいとされるのが「易経」。本書は易経を学んで三十数年という竹村氏がリーダー、とりわけこれからリーダーを目指す若い人々に広く易経を学んでもらうことを狙いとした入門書。

著者によると、易経は占いの本ではなく、「時と兆し」を洞察する方法で、「時」の変化の道理を説くとともに、変化の中で将来を切り開いていくための知恵が盛り込まれてい

るといふ。「コンプライアンス」体制の確立が求められる中で企業の不祥事が後を絶たないのは、リーダーの質の低下にあり、「兆しを察知できないリーダーが不祥事を招くといっても過言ではない」と強調する。

前半で64種類の時の中で、最も原則的な時の変遷をたどる龍の話「乾为天（けんいてん）」の概略を基に、リーダー成長の6段階を紹介、後半ではその応用編ともいべきリーダーの心得を五つの観点で展開している。

現代でも変わりなく通じる「リーダー成長進化論」ともいえる。

（長崎出版刊＝1890円）

